　ショッピング

オンラインの爆発的な流行とともに、多くの企業が注目したのが「ショッピング」でした。オンラインを利用した通信販売です。今ではさまざまなお店がオンライン上にオープンしており、世界中の商品を手に入れることができます。ネットライフの第一歩としてこのショッピングに挑戦してみましょう。

# オンラインショッピングって何？

現実社会をどんどんバーチャルな世界に取り込んできたオンライン。手紙を電子メールに、おしゃべりをチャットに、そしてショッピングもバーチャルな世界で実現しました。そのショッピングがオンラインショッピングです。これは現実社会の通信販売をオンライン上で展開しているもの。「オンラインショッピング」は難しいとか危ないなど、特別に考える必要はありません。オンラインを利用していること自体は新しいことですが、通信販売自体ずいぶん前から行われてきました。オンラインだから特別のことができるとか、とんでもないことが始まるということもありません。気を楽にしてオンラインショッピングを楽しみましょう。あらゆるものやサービスがオンラインショッピングでは販売されています。ショッピングはもとより、オークションやフリーマーケットなどにも挑戦してみましょう。

# オンラインショッピングの魅力

POINT

●24時間265日可能（通信販売に共通のメリット）。

●オンラインだから安く買い物ができる。

●オンラインだから世界中の商品を手に入れることができる。

●オンラインだから値段を比較し見比べて買い物できる。

●オンラインだから情報がいつも新鮮。

　オンラインショッピングは私たちにどのようなメリットを与えてくれるのでしょうか。

　オンラインショッピングはバーチャルな通信販売です。だからといって、そのメリットも通信販売とまったく同じというわけではありません。

　もちろん、24時間265日、時間と場所を問わず、好きなときに買い物ができるというメリットがあります。これは通信販売ならではないでしょう。そのほかに、以下のようなメリットがあります。

●安く買い物ができる

　オンラインのお店はとても簡単にオープンできます。オンライン上に表示されるカタログ（ホームページ）をとても簡単に作成できます。さらに通信販売ですから流通コストをセーブできます。これらのことから、オンラインでは通常のお店で購入するよりも安く買うことができます。

●世界中の商品を手に入れることができる

　オンラインに国境はありません。イギリスのショップもイタリアのショップも、世界中のショップに同じようにアクセスできます。イギリスの紅茶もイタリアのバッグも同じような手順で購入できます。個人輸入をしていた人にとっては、これはすばらしいメリットといえるでしょう。もちろん、その国の言葉がわかっているということが前提ですが。

●値段を比較し見比べて買い物できる

　オンラインはお店を次から次へと「はしご」できます。ウィンドウショッピングも自由自在です。時間さえ許せば、いくつものお店をまわり、じっくりと比較検討してお買い物ができます。購入する品物が決まっているときはオンラインならでは「検索機能」を利用して、多くの情報を得ることもできます。それらを活用して、幅広い選択肢から品物を選ぶことができます。

　このようにたくさんの商品を比較して選ぶ、さらに情報をベースに選ぶ、これができるのはオンラインならではメリットでしょう。

［参照］→「検索サイトで欲しい情報を探す」（P.○○）

●情報がいつも新鮮

　「安く買い物ができる」でもいいましたが、オンライン上に表示されるカタログ（ホームページ）は簡単に作成できます。簡単に作成して、簡単に公開できます。ところが、通常の通信販売はこうはいきません。カタログを作成するには多くの工程と時間が必要であり、その分お金もかかります。ましてやテレビで商品を紹介するとなると、宣伝費用がそうとうかかります。

　その点、オンラインは情報の作成や修正が楽なので、必要ならば毎日のように値段や商品を変更できます。情報が新鮮なのです。その新鮮な情報を確認しながら買い物できるというわけです。

# ショッピングモールへ行ってみよう

POINT

●日本一の規模を誇る「楽天市場」を開いてみる。

●まずは気楽にウィンドウショッピング。

　オンラインショッピングでよく耳にするものに「ショッピングモール」があります。ショッピングモールとは日本語でいう「商店街」のこと。文字通り、オンライン上に現れたバーチャルな商店街がショッピングモールです。オンラインは「街」までバーチャル化してしまうのです。

　このショッピングモールを体験してみましょう。行ってみるのは日本で最も有名なショッピングモールのひとつ、「楽天市場（http://www.rakuten.co.jp/）」です。ショッピングモールというくらいですから、とても多くのお店が開店しています。その数なんと1800、購入できる商品は数十万点になります。ここを見ているだけでも一日や二日かかってしまいそうです。

　まずは、「楽天市場」にアクセスしてみましょう。

　もっとも皆さんはまだパソコンに向かわなくてもけっこうです。ここで、オンラインショッピングを擬似的に体験。気軽に読んでください。

■楽天市場でウィンドウショッピング

トップページ

URL「http://www.rakuten.co.jp/」をアクセスしてみましょう。これが、楽天市場のホームページです。楽天市場は会員登録の必要もなく、とりあえずあちこちのお店を回ることができます。この気楽さがいいところです。

このページの下の方に「お買い物方法について」というメニューもあり、お買い物の方法を紹介しています。

ジャンル選択

まずは大まかな分類から自分の見たいジャンルを探します。これは多くのショッピングモールがそうなのですが、分類をメニュー表示してあり、そこからお目当てのお店を探していくことになります。

また、「検索」というボックスに設けられており、目的の商品が決まっている場合は、このボックスに商品名や店名を入力することで、該当するお店を検索できます。

商品の絞り込み

さて、ここでは一番お店の数が多い「ファッション」を選択して、開いてみました。最も多いジャンルだけに、その下にもいくつものメニューが表示されます。さらに、「ベビー・キッズ・マタニティ」を選んでみましょう。忙しいお母さんにとって育児関連の商品はありがたいことでしょう。

ベビー選択

さらに、「ベビー」を選びます。ベビーの中にもおもちゃや絵本、育児器具などいくつかの分類わけがされています。こうして、自分の欲しい商品を扱っているお店を探していくわけです。

女の子向けのおもちゃ

ここでは「女の子向けのおもちゃ」を探して、ついにお店の一覧へたどり着きました。

さっそく、お店を訪ねてみましょう。

1軒目のお店

これが店内です。

もっとも商品はこれだけではありません。まだたくさんあります。ここの商品をクリックすることで、その解説や詳細な情報を得ることができます。

2軒目のお店

もう1軒行ってみましょう。前のお店とは異なり、ここは日本的です。キャラクターグッズや子供向けの玩具がそろっています。

いかがですか、こうしてウィンドウショッピングをするわけです。お店を渡り歩きながらお目当ての商品やまた訪れてみたいお店をチェックしたり、本当に買い物をしたりします。

では、次のページでは、買い物の例をご覧いただきましょう。

# ショッピングモールでお買い物

POINT

●商品の一覧のホームページで購入する商品を選ぶ。

●カゴページへ飛んで住所や支払方法を指定する。

●初めての方でも簡単に購入できる。

それでは、実際にお買い物をしてみましょう。ここでは、地方特産品を買い物してみます。地方の特産を居ながらにして購入。これもオンラインショッピングならでは楽しみ方です。

商品選択

食べ物を探しながら、前から欲しいと考えていたお酢を発見しました。もらい物で、とても気に入っていたものですが、もらい物だけあって再購入というわけにいきません。そんなときに、オンラインのウィンドウショッピングで同じものを発見したというわけです。さっそく商品をクリックしてみます。

買い物かごへ

買い物はほとんどのお店では「買い物かごへ」というボタンを押して、カゴページへ飛びます。スーパーなどでのお買い物を同じように、まず商品を買い物カゴに入れ、その上で精算する手順となります。

カゴページ

これがカゴページです。このページで買い物した商品の一覧を確認できます。ここから「買い物を続ける」をクリックすると、元のページへ戻って買い物を続行できます。とりあえず、この商品だけを注文してみましょう。「土佐きてみい屋注文画面へ」をクリックします。

注文画面へ

ここからが注文のための情報入力画面です。支払方法や名前・住所など、商品を受け取るためのいくつかの指定が必要となります。

今回は試しに購入したので、楽天市場の会員になっているわけではありません。そこで「会員登録をしていない」の「注文画面へ」をクリックします。

情報の入力

商品を届けてもらうための名前と住所、電話番号などを入力します。これは正確に入力しましょう。電話番号も入力しなければいけません。

また、メールアドレスを入力すると楽天市場からキャンペーン情報などのメールが届くようになります。

情報の入力

そして、送付方法、代引きや銀行振り込みなどいくつかの方法から選択できます。ここでは、手軽な代引きを選んでみます。代引きとは、商品受け取りの際に宅急便の配達員にお金を支払うことです。宅急便の会社が代金回収の代行をしているわけです。

クレジットカードでの支払いもありますが、その番号を知らせるのが怖い場合はこの代引きが便利です。

注文確定

すべての指定が終了したら「注文確定」をクリックします。

これで注文終了。お疲れさまでした。

確認画面

最後に確認の画面が出ます。また、注文番号も表示されます。この番号はメモするなり、画面キャプチャ\*をとって保存しておきましょう。商品が届かないとか商品が異なるなど、トラブルが発生した際の確認番号となります。

＊画面キャプチャ：表示画面をデータとして保存すること。キーボード上の［Print Screen］キーを押すことで、画面データをクリップボード上に保管できます。そのデータをアクセサリのペイントなどにペースとしてファイルとして保存します。

■検索機能を利用する

キーワード入力

前ページまでの例のように、メニューから選択範囲をひとつずつ絞って商品を選んでいく方法もありますが、検索機能を利用して一気に絞っていく方法もあります。

検索はよく使われる機能だけあって、トップページ\*のもっとも目立つところに入力ボックスがあります。ここでは、「扇風機」と入力して検索してみます。

候補の表示

扇風機と入力しただけで相当数の候補が表示されます。これではとても選んでいられません。そこで、値段の範囲を設定して、絞り込むことにしましょう。

価格で絞り込み

ここでは4000円以内の扇風機を探してみましょう。4000円以下の扇風機などあるのでしょうか。

＊トップページ：ホームページの一番先頭になるページのこと。本や雑誌でいえば表紙に当たります。ほとんどのトップページは目次の役割もしていて、ここからいろいろなページへジャンプできます。

一覧から商品選択

いくつかお店と商品が数点に絞られました。ここで、「アウトレットミスターマックス」の「押ボタン式リビング扇風機」をクリックしてみます。

商品確認

表示されたのがこの商品です。製品もしっかりしていますし、アウトレットというだけあって製品のわりに価格は破格といえます。

もし購入するのであれば、前にやったように、「買い物かごに入れる」をクリックして、「カゴ」ページへ移動します。

コラム

●登録をしよう

買い物を何度も続けると、住所や電話番号などの入力がひどくめんどうになります。そのような方のために「会員登録」があります。会員になるといろいろな住所などの入力がなくなるだけでなく、記念日の登録や購買履歴の参照などさまざまなサービスを受けることができます。

◆こんなサイトも

●逸品.com http://www.ippin.com/

ショッピングモールとしては必ずといっていいほど紹介されるサイト。ここの特徴は「逸品」の名前の通り選りすぐれた商品にあります。独自の基準を設けて、簡単には出店できないような仕組みになっています。ここでの買い物は間違いがないということでしょう。

●Shopping＠nifty http://www.nifty.com/shopping/

所属しているプロバイダのショッピングサイトを確認してみましょう。特に大手のサイトであれば、ショッピングサイトへの入り口を設けています。プロバイダがやるだけあって、いい加減なお店の参加は認められています。そこがいいところです。

●gooショップ http://shop.goo.ne.jp/

プロバイダ同様、検索サイト\*もショッピングモールを開いています。これはgooの開いているショッピングモールです。このほか、検索サイトのモールはアクセス数も多くそれだけ実績のあるお店が集まっています。

＊検索サイト：簡単な語句を入力して、見たいホームページを探してくれるところ。詳しくは「検索サイトで欲しい情報を探す」（P.○○）を参照。

# 値段を比較してパソコン購入

Point

●オンラインショップはパソコンをいっきに身近にしてくれる。

●オンラインでパソコンの情報を探ろう。

●価格を比較できるところがオンラインのメリット。

オンラインでパソコンを購入。おそらくオンライン上で最も大量の情報が流れ、多くの製品が販売されているのは、この「パソコン」でしょう。それだけ、ネット上でのパソコン売買は一般的になっています。

まず、パソコン購入に情報収集は欠かせません。かつて情報収集は雑誌をめくったり、直接店頭まで足を運んだりして、せっせと集めるものでした。しかし、オンラインがあれば、居ながらにしてあちこちのメーカーの最新情報をチェックできます。

お店もたくさんあります。秋葉原あたりにあるお店がオンライン上にオープンしているところもあるし、オンライン上だけに開いているところもあります。

さらに便利なところは、オンラインではお店ごとの価格の比較までが公開されているところです。あちこちの店頭やサイトを確認して、それを一覧にしています。在庫の有無まで表示しているところもあります。かゆいところに手が届くようなサービスです。もっとも、これをやられるお店の方では、あんまりいい顔をしていないという情報もあります。

「パソコンの通信販売」というと、お店から遠い場所に住んでいるか、一部のマニアだけのものでした。しかし、今は違います。初心者も含め、みんなが安心して購入できるようになりました。

■メーカーサイトをチェックする

●富士通 http://www.fmworld.net/

オンラインで製品情報を公開。特にパソコンメーカーは熱心に取り組んでおり、他の業界のお手本になるほどです。このサイトの善し悪しがパソコンの信頼性やイメージにつながるからです。ということで、最初に富士通を確認してみましょう。富士通はテレビでも積極的にパソコンのCMを流していますが、オンラインでも専門のサイトを設け、製品情報を詳細に公開しています。

●日本電気（NEC） http://www.pc98.nec.co.jp/

富士通と来たらNECです。パソコン市場で、NECは国内で圧倒的なシェアを誇っていました。当時の勢いはないものの、依然と最大手のひとつ。売れ筋のラインアップを持っており、買う買わないは別にして比較のためにもチェックの必要はあるでしょう。ここも富士通同様に専用のサイトを設けて各種情報提供サービスをしています。

●IBM http://www.ibm.co.jp/personal.shtml

今度は外国のメーカー。IBMも幅広い種類のパソコンを生産しており、パソコンを購入するなら一度は訪れたいところです。IBMは企業あてにもビジネスをしているところですが、きちんと個人向けにもサービスをしています。ホームページも個人向けに用意しており、各種キャンペーンも打っています。

●ソニー http://www.sony.co.jp/

最近元気のあるソニーを見てみましょう。ソニーのパソコンはいわずとしれたVAIO。ソニーらしい個性的な機能やデザインが受けて、シェアトップグループに入ろうとしています。おかげで、どこのお店でも品薄です。

●アップルコンピュータ http://www.apple.co.jp/

もうひとつ、ここも最近元気です。アップルコンピュータはiMacやiBOOKが大ヒットして、個人利用者から大きな指示を得ることができました。一時は会社の存続やMacintoshというブランドの将来まで危ぶまれたのですが、ひとまず安心です。サイトでは商品紹介はもちろん、さまざまな使い方の提案をしています。

●松下電器産業（パナソニック） http://www.pc.panasonic.co.jp/pc/

いろいろメーカーを歩き回ってきましたが、いかがでしたか。そろそろ、お目当てのパソコンを決めましょう。ここでは、松下電器産業のLet’s noteが気に入りました。A4サイズながら2キロ以下、バッテリか同時間も3.5時間とモバイルにも十分です。では、実売価格はどうでしょうか。それをこれから確認していきましょう。

■直販メーカーもチェック

●ゲートウエイ http://www.gw2k.co.jp/

パソコンの実売価格チェックの前に、直販メーカーも覗いてみましょう。パソコンの世界ではオンラインや電話など通信販売だけでビジネスをしているメーカーが多くあります。最初から中間マージンを省いていますので、思い切った低価格で販売しているのが魅力です。まずは、ゲートウエイ。最近テレビCMも初めて、個人市場をねらっています。

●デル http://www.dell.com/jp/

直販のパソコンといえばデルです。もしかすれば、個人にはあまりなじみがないかもしれませんが、企業レベルでは世界的に多くのファンを得ています。低価格でありながらハイレベルな性能を提供する、幅広い種類のパソコンを販売しています。オンラインでも購入できますが、電話でもOK。納期などを確認しながら購入したい方は電話の方がいいでしょう。

●エプソンダイレクト http://www.epsondirect.co.jp/

国内の直販メーカーを紹介しておきましょう。エプソンダイレクトは最新の部品をいち早く搭載し、しかも低価格で提供することで定評のあるメーカーです。これも直販メーカーならではの特徴でしょう。エプソンダイレクトも企業市場やパワーユーザー向けのマシンが中心でしたが、最近EDi Cubeという初心者向けのパソコンも出しました。

■お店のサイトを訪問

●ラオックス http://www.laox.co.jp/

それではバーチャルなお店を見て回りましょう。何も自分の足で電車に乗ったり、歩いたりしていく必要はありません。多くのお店は実際の店舗のほかに、オンライン上でもお店を開いています。まずは、秋葉原のラオックスコンピュータ館。ここで値段をチェックして、他のお店との比較検討の基準にしましょう。

●T･ZONE http://www.t-zone.co.jp/indexnew.html

次はT･ZONE。秋葉原ではラオックスコンピュータ館とならぶ大型店舗です。ここも相場を探るという点では外せないところ。ウィンドウショッピングでもぶらりと訪れてみましょう。初心者はもちろん、自作派の人にもうれしい情報がたくさんあります。

●PC SHOP ONLINE http://www.ascii.co.jp/pcshop/

ここはお店ではありません。アスキーが開いている、お店の情報を提供するところです。いろいろなお店のキャンペーンやイベント情報をまとめて教えてくれます。お店のほか、パソコンに対する情報も入手できます。

■価格を比較する

●パソコン価格情報 http://www.kakaku.com/

トップページ

パソコンの価格を一覧にしているサイトを紹介しましょう。ここまでやっているところが、オンラインのメリットです。その代表的なサイトがこの「パソコン価格情報」。各ショップの値段を一覧にして紹介しています。ここで、Windowsノートの価格を確認してみましょう。

価格の一覧

これが、Windowsノートの価格一覧です。お店ごとに製品の価格を比較できます。このような親切な情報が受けて、アクセス数が急増しています。ただし、お店の数に限界があり、全国で利用できるわけではありません。これも相場ということで確認しましょう。

●Net de 通販 http://www.iijnet.or.jp/netde/

トップページ

ここは現実上の店ではなく、オンライン上のショップを中心に価格を比較しています。値段や在庫が確認でき、気に入ったらそのショップへ移動することもできるようになっています。次ページでは、このお店の使い方を紹介しましょう。

■価格比較からショップへ移動する

メーカー選択

引き続き「Net de 通販」のページです。ここで、確認したいメーカーをクリックします。価格比較は購入したい製品が決まっている場合に便利です。

一覧へ移動

さらに、製品一覧に移るためにクリックします。40件の情報が掲載されていることがわかります。ここからメーカーのホームページに移ることもできます。

ショップ選択

商品の一覧がショップや価格などとともに一覧されています。多少比較はしづらいのですが、それほど商品がたくさんあるわけではありません。ここでしっかりとチェックします。在庫も確認もして、お店を決めます。「九十九電機」に決めて、ジャンプしてみます。

■パソコンを購入する

●九十九電機 http://www.tsukumo.co.jp/

トップページ

これが九十九電機のホームページです。お店まで飛べるところが便利です。商品も決めていることですから、後は注文するだけ。注文するだけですが、いくつかの手順が必要です。それをこれからお見せしましょう。

商品の表示

まずは、商品一覧を確認。確かにありました。価格も間違っていませんし、在庫も「あり」となっています。それでは「注文・詳細」をクリックします。

商品の確認

表示されたページで商品名と価格を再度チェックします。一覧表では表示できなかったことも記載されていますので、よく確認して「バスケットに入れる」をクリックします。お店で買い物かごに入れるようなものです。

カゴページ

これが「カゴページ」です。カゴページは前の「楽天市場」でも出てきました。商品の一覧ページ（タナページともいいます）とカゴページは、オンラインショッピングにおいて共通しているといっていいでしょう。ここで「注文書入力画面へ」をクリックします。

情報入力

住所を入力します。これもレイアウトは多少変わりますが、入力する内容は同じようなものです。

注文確認画面

同じページを下方向にスクロールしたもの。支払い方法を指定して、「ご注文確認画面へ」をクリックします。ここでは、クレジットカードを選んでみました。パソコンのような高額なものになると代引きというわけには行きません。

情報の指定

さらにいくつかの項目を指定して、「すべての入力項目を確認」をクリックします。この一連の作業は慣れていないとけっこう疲れるかもしれません。ここでは、配達日を指定できますが、急ぎだからとってすぐというわけには行きません。

注文

入力下内容をすべて確認して、「注文」をクリックします。「注文」をクリックしたからといって、取消すことができないわけではありません。確認のメールが届きますので、そこでキャンセルできます。もっともこれはルール違反ではありますが。

コラム

●オンラインショッピングと納期について

オンラインショッピングは安い、24時間できるし、関連する情報が新鮮で豊富⋯⋯と、メリットは多いのですが、不自由なところもあります。納期です。急ぎでなければいいのですが、明日欲しいとか明後日欲しいという商品はほとんど不可能です。正確な納期がつかめない場合さえあります。ツーウェイコミュニケーションではないから、「いつ届くのですか」という質問の答えがすぐに返ってこないのです。たいていの場合、受注確認のメールが来ます。そこに納期が記載されています。また、急ぎの場合は銀行振り込みではなくクレジットカードや代引きの方が確実でしょう。

# 書籍や古本を手に入れる

POINT

●書名や執筆者名で欲しい本を探すことができる。

●最寄りの書店に届けてもらうか、宅急便で受け取る。

●古書も欲しい本を検索できる。

世の中は効率化や合理化が進み、何でもスピード化されています。しかし、書籍の流通だけは前近代的で、消費者サービスを完全に忘れていました。欲しい本を本屋に注文すると、なんと2〜3週間もかかるのです。この流通の仕組みは不可解であり、多くの読書家が怒りなかばあきらめていました。

しかし、この暗闇のような流通ルートに風穴を開けるものが現れました。もちろんオンラインです。オンラインのオープンな流通で、居ながらにして欲しい本が検索でき、近くの書店に届けてもらったり、宅急便で受け取ったりすることができるようになっています。

もっとも、オンライン上での書籍購入は欲しい本が決まっている場合に有効です。ぼんやりおもしろそうな本を探すとか、欲しいジャンルの本をぱらぱらめくってみたいという欲求にはあまり適していません。とはいえ、各サイトではお薦めの本を紹介したり、ジャンル別の検索機能を設けたりするなどして、さまざまなサービスを開始しています。

ここでは、日本出版販売株式会社（日販）が主催している「本やタウン」とヤマト運輸が行っている「ブックサービス」を紹介しましょう。

「本やタウン」は近くのお店まで本を届けてくれます。送料はもちろん無料。「ブックサービス」は全国一律380円で書籍を届けてくれます。

＜イラスト　スペースがあれば＞

■「本やタウン」で本を購入

●「本やタウン」 https://www.honya-town.co.jp/

トップページ

「本やタウン」の特徴は全国の書店が束になっている点です。日販がバックとなって、日販の在庫や拠点となる大型書店の在庫を確認して、注文することができます。さらに、出版社の在庫状況も含め、150万点以上もの中から書籍を取り寄せることができます。さっそくここで、書籍を検索して注文してみましょう。

本の検索

検索には速攻検索とエキスパート検索があります。速攻検索は書名でも著者名などキーワードとなる文字を入力します。エキスパート検索では書名や著者名のほか、出版社名やISBMなどで絞り込むことができます。ここでは著者名を入力して「検索」をクリックします。

検索された書籍一覧

11冊が検索されました。入力した著者は全国の在庫としてこの11冊があるというわけです。ここでは、書名をクリックして内容を表示。さらにカゴページへ登録します。

カゴページ

おなじみカゴページです。何度もいいますが、オンラインショッピングではタナページ（商品を陳列しているページ）とカゴページは共通です。この「本やタウン」では3冊注文することにしました。もちろん何冊でもかまいません。「本やタウン」では送料不要で、書籍代外にお金はかかりません。

加盟書店の一覧

ここで「本やタウン」ならでは操作。本を受け取る書店を指定します。これから一覧するわけですが、もしかすれば近所にないかもしれません。検索ページから加盟店を一覧できますので、あらかじめ確認しておいた方がいいかもしれません。

書店の決定

幸い近所に加盟店がありました。その書店で「決定」をクリックします。

なじみのない店だったら「地図」で地図を表示できます。詳細な案内は書店名をクリックすることで表示できます。

情報の入力

書店が決まったら、例によって名前や住所、電話番号などの入力です。オンラインショッピングではこの入力作業は欠かすことができません。この負担を軽減するため、会員登録をお勧めします。

注文

入力情報を確認して、「注文確定」をクリックします。

ここをクリックしたら取り消すことができません。

サンキューメッセージ

サンキューメッセージ表示されます。

同時に注文番号が表示されます。これは確実に注文を受け取りましたという証。できるだけこのページは印刷して手元に置いておきましょう。

■ヤマト運輸「ブックサービス」で注文

●「ブックサービス」 http://www.bookservice.co.jp/

トップページ

もう1軒シミュレーションしてみましょう。今度はヤマト運輸の「ブックサービス」です。ヤマト運輸というくらいですから、とうぜん宅急便で運ばれてきます。従来、書籍の通販というと送料が付き物で、これがネックでした。しかし、ヤマト運輸は全国一律何冊でも380円という破格の金額でサービスしています。

検索機能

金額が売り物のヤマト運輸ですが、最近になって検索機能も設けました。これも他のサイトに遜色のない機能を持っています。ちなみに「本やタウン」と同じ著者名で検索。一覧された書名も「本やタウン」と同じです。

注文

もう1つのメリットは配達スピード。注文が来ると出版社まで受け取りに行き、それを客に届けます。自ら在庫を持たず、それでいてスピーディに配達してくれるのです。このビジネスモデルも十分に革命的です。

■古書を買う

●BOOK TOWN KANDA http://www.book-kanda.or.jp/

トップページ

古書というと暗い古本屋のイメージがありますが、今ではオンラインのおかげでずいぶんとオープンになっています。その1つ「BOOK TOWN KANDA」を訪れてみましょう。これは日本を代表する古本屋街・神田古書店街の運営するサイトです。

検索機能

古書の検索がオンラインでの最大のメリットでしょう。書名や著者名などを入力して、約10万点の在庫から検索できます。しかしながら、このサイトで購入はできません。古書を持っている店へリンクされていますので、そこへ問い合わせるか、伺うかすることになります。

●日本の古本屋古書情報 http://www.kosho.or.jp/

もう1軒。全国3000軒の古書店をつないで在庫を検索できる「日本の古本屋古書情報」。ここは会員登録してIDとパスワードを入手する必要があります。もちろん無料です。ここも購入はできません。リンクをたどってお店を訪れたり、メールで問い合わせたりすることになります。

◆こんなサイトも

●JBOOK http://www.jbook.co.jp/

文教堂が経営するサイト。本だけではなくCD、ビデオ、パソコンソフト、ゲームなども扱っており、まとめて購入できて便利です。1冊280円というきわめて低価格で配送してくれますが、ヤマト運輸「ブックサービス」ほどのスピードはありません。

●紀伊國屋書店 http://bookweb.kinokuniya.co.jp/

「オンラインで書籍」というと必ず顔を出す定番サイト。150万という膨大なデータベースで検索できます。洋書・輸入音楽CDもあり。入会金1500円の会員制。

●丸善オンラインショッピング http://www.maruzen.co.jp/

紀伊國屋書店と並ぶ書店の有名サイト。ここもデータ件数は150万件。国内で刊行された書籍やビデオ、CDも検索できます。丸善だけあって洋書籍データベースが200万件と充実。専門書やペーパーバックやフィクションなどの一般書籍もあつかっています。なお、購入はクレジットカードのみ。

# ネットで車を購入する

Point

●初めての人でもオンライン上で簡単に見積りがとれる。

●ディーラーも紹介してくれる。

●新車の情報はもちろん中古車の検索もできる。

パソコンも高価ですが、車はもっと値段が張ります。こんなものをオンライン上で購入できるのでしょうか。もちろん、しようと思えば不可能ではありませんが、一般的ではありません。オンライン上で行われているサービスは「ディーラー紹介と見積り作成」です。

さまざまな車の中からお気に入りの車種を選び、その車種の中からグレードや色、オプションなどを設定。その上で、最寄りのディーラーが見積りをメールやFaxなどで知らせてくれるというサービスです。それ以降は、そのディーラーとの商談となります。これはメールでもいいのですが、いきなり訪問したり電話での直接交渉したりした方が早いし、間違いがありません。車はさわった方がいいし、試乗してみなければわかりません。それに、車の購入は、車庫証明や各種保険もあって単純ではありません。

しかし、気軽に見積りがとれるのは便利です。見積もりは1車種だけとは限りませんし、ディーラーもいくつかあたることができます。初めて車を購入される方でも、見積もりだけなら気が楽でしょう。それに、オンライン上にはさまざまなカー情報があふれています。

■オンライン上で見積もりを依頼する

●ISIZE CARLIFE http://www.isize.com/carlife/

トップページ

「ISIZE」をご存じですか。本書ではこれからも何度か出てくると思いますが、リクルートが開いている有名なポータルサイト\*です。リクルートというくらいですから中古車情報。しかし、ここでは新車の豊富な情報や見積りサービスも用意されています。

メーカー選択

「ISIZE CARLIFE」には新・中古車はもちろん、関連するさまざまな情報が盛りだくさんに用意されています。ここでは、新車見積りに挑戦してみます。まず、メーカーを選択します。24時間見積りを申し込むことができ、とても便利です。といって、すぐに返事が来るわけではありません。1〜2日かかります。

車種選択

引き続き車種名を選択します。さらに、郵便番号、メールアドレス、下取り有無などいくつかの選択や入力をします。

＊ポータルサイト：入り口となる場所。オンラインは多種雑多な情報の海ですが、その入り口としてさまざまなドアを設けているサイトがあります。そこからお店を探したり、ニュースを見たり、占いをはじめるわけです。このようなサイトをポータルサイトと呼びます。検索サイトもポータルサイトとしての機能を持つようになっています。

ディーラー選択

車種や住所などから、該当するディーラーを一覧します。ここから見積りをとりたいディーラーを選択します。

情報入力

グレードや車庫証明、ローンなどの設定。さらに、住所、電話番号、連絡方法などを指定して、見積りを申し込みます。

見積り依頼

これで、見積り依頼の終了。数日以内にこれで見積りが指定の方法で到着します。これからはメール上でもけっこうですし、電話上でもけっこうです。細部を詰め、気に入ったら購入ということになります。もちろん、ここだけに見積りを申し込む必要はありません。他のディーラーにも簡単に申し込むことができます。これがオンラインの便利なところです。

◆こんなサイトも

●Yahoo!自動車 http://autos.yahoo.co.jp/

ほかにも同じようなサービスを提供しているサイトを紹介しましょう。ここは検索エンジンとして有名は「Yahoo!」がサービスしている新車・中古車見積りサイト。もちろん各種情報も豊富に提供しています。しかし、提携ディーラーの数が少なく、あっさり見積もり作成を断られることもあります。老舗のリクルートとの違いはここら辺にあります。

●バーチャルカープラザ.car24 http://www.car24.co.jp/

車の購入サイトとしてはここけっこう有名です。ここはQ&Aやアドバイスなど、初心者にありがたい情報が豊富。新車見積りについてはリクルートの「ISIZE CARLIFE」とほぼ同じです。

●HiBee Dress Up Car http://www.i-hive.co.jp/~hibee/

車の部品エアロパーツのデータベースサイト。もともとHiBee Network（ハイビーネットワーク）というエアロパーツのデータベースソフトをオンライン上からもアクセスできるようにしたものです。3000点以上ものパーツから検索でき、装着イメージも確認できます。

# 個人輸入にチャレンジしてみよう

POINT

●居ながらにして世界中のお店でショッピングできる。

●その国の言葉に精通していることが望ましい。

オンラインショッピングの醍醐味は距離を超えることにあります。地方の特産物を購入するなど、まだまだ入門段階。ここでは遠く外国から商品を取り寄せてみましょう。もっとも本書はどのようなことでも簡単だ、手軽だ、チャレンジしようなどと無責任にお勧めはしません。個人輸入はその現地の言語ができないと困難です。困難だから挑戦する価値があるという意欲と時間のある人はいいのですが、そうでなかったら特別な場合をのぞいて見るだけにしましょう。

見る、すなわちウィンドウショッピング。これはただですし、何も難しくありません。見慣れていよいよ欲しいとなったら辞書片手に、アクセスしてみましょう。海外ですから、利用できる支払方法はほとんどがクレジットカードに限られます。信頼あるお店を一覧できる「個人輸入センター」の使い方も紹介します。ここでは関税の計算方法や現在のレート、簡単な英文メールの書き方、よく使われる英単語までも紹介しています。

個人輸入の最初として、日本語で解説されているアメリカのサイトを紹介しましょう。ここで、購入したものは確実に海外から発送されてきます。その名前は「バーゲンアメリカ」。これも有名なサイトでいろいろな雑誌で取り上げられています。

■バーゲンアメリカでお買い物

●バーゲンアメリカ http://www.rainbee.com/

トップページ

ここが有名な日本語で買い物できるアメリカのお店です。ハワイに行ったら、店員が日本人、案内板も日本語、商品説明も日本語、そんなお店と考えていいでしょう。日本語ばかりですが、本当にアメリカにあるお店ですから個人輸入には違いありません。ドル表示だし、関税もかかります。

ジャンル選択

まずは商品探し。「SPECIALITY」から「グルメ」へと階層を下げていきます。ここではトップページにキャンペーン商品やお勧め商品もあり、そこから興味深いものを選んでいくことができます。

商品選択

一覧された食料品の中から「ビーフジャーキー」を選んでみます。2パックで20.95ドル。かなり高価ですが、1袋226gとあります。そこそこのボリュームなのでしょう。ここでは在庫も表示されます。5個。あんまり売れないのでしょう。たいした在庫量じゃありません。

カートに入れる

商品の詳細情報が表示されます。ここで、「カートに入れる」をクリックします。さすが海外のお店です。バスケットやカゴなど小さな入れ物ではなく「カート」です。これをクリックしても、日本のようにカゴページへ飛びません。左側にある「ショッピングカート」の中に数量が表示されます。ここでチェックアウトを開始します。

電子メールとパスワード入力

まず、登録作業が始まります。電子メールとパスワードを入力します。パスワードは自分お好きな文字を英数字で入力します。次回はこの電子メールとパスワードがあれば、住所などの入力を省略できます。

情報入力と注文

例によって名前や住所、電話番号などを入力していきます。ここがアメリカのサイトだけあって漢字やひらがなの入力ができません。半角ローマ字で入力し、「注文」をクリックします。こうして10日前後で商品が到着します。

■個人輸入センターを徹底活用

●個人輸入センター http://www.diyer.com/

トップページ

ここはショップではありません。個人輸入のための入り口（ポータルサイト）ということができるでしょう。個人輸入の方法はもちろん、関税率、英文手紙、英単語対訳など、いたせりつくせりの内容となっています。個人輸入をはじめる前にぜひ訪れたい場所です。

個人輸入の方法

まず、確認しなくてはいけないのはこの「個人輸入の方法」でしょう。ステップごとの説明や注意事項、必要な経費などが掲載されています。この一読をお勧めします。

お店一覧

だいたい、個人輸入の概要がわかったら、ウィンドウショッピングへと移りましょう。その対象となるお店も豊富に紹介しています。ジャンルはアウトドア、スポーツ、コンピュータ、子供服、おもちゃ⋯⋯とジャンルに分けられ、さらにお店が一覧されています。

商品の絞り込み

ここで選んだのは「レインビーhttp://www.rainbee.com/」子供服やおもちゃの総合サイトです。乳幼児をもつ母親は時間がなく、オンラインにはこのたぐいのお店がたくさんあります。ここで商品を絞り込んでみましょう。

商品選択

選んだのは教育用のおもちゃ。数ページに分かれていくつかのおもちゃが紹介されています。あんまり日本では見かけないおもちゃが多く、何しろアメリカ製ですから大きくて頑丈そうです。

詳細表示

その1つを詳細表示。ここで値段を確認したり、おもちゃの写真を拡大表示したりすることができます。また、ここで「Add To Cart」をクリックすると、例によってカゴページへ飛び、住所や名前などを入力すると購入することができます。

# オークションに参加する

POINT

●意外なお宝が格安でゲットできるかもしれない。

●ゲーム感覚で楽しむこと。シビアになるとトラブルが怖い。

オークションが流行しています。オークションとは、参加者を相手に値段をせり上げ、最も高い値段を示した人に落札するシステム。これをオンライン上で再現したのが、話題となっている「オークション」というわけです。商品を出品する、値段を提出する、一番の高値に落札する。これら一連の流れはデジタル化しやすく、オンライン上でサービスしやすいものといえます。

このオークションへの入札参加は誰でもできますし、簡単です。

もし落札したら、当然その商品を受け取り代金は支払わねばなりません。この当然のところが、なかなか守られず、問題化され話題となったこともあります。落札しても商品を受け取らない、代価を支払わないでは、オークションの妨害となってしまいます。また、商品を渡さないというケースもあるようです。慣れないうちは、あまり高額なものはさけた方がいいかもしれません。

オークションの楽しさは、刻々と変わる最高金額をウオッチするところにあります。自分の出した金額がいつまで有効か、今度どれぐらいの金額を示そうか。そのようなゲーム感覚でエンジョイできます。どのような商品が出展され、どのような価格がつけられているか、楽しみながら観察しましょう。あんまり一生懸命になりすぎると、万一のトラブルのときに、痛手が大きくなります。

■Yahoo!オークションに参加する

●Yahoo!オークション http://auctions.yahoo.co.jp/

トップページ

おなじみ「Yahoo!」が開催しているオークションです。誰でも参加でき、商品を出品することも可能です。ここの特徴は個人が自由に参加して個人が自由に落札していることです。だからどうしようもない商品もあり、それなりに見ていて楽しいものがあります。

会員登録

最初に行うのは会員登録。IDとパスワード、メールアドレスを入力します。これらは自分で任意に指定できます。パスワードを忘れたときのための秘密の質問と答えも入力します。

登録完了

登録完了です。登録自体は難しいものでも時間がかかるものでもありません。ただし、後から出てきますが、初回入札時には「認証コード」確認の手続きがあり、これがけっこうやっかいです。

商品一覧

まずはどのような商品が出ているかを確認しましょう。商品はジャンルに分かれており、それを絞っていくことで商品一覧を開くことができます。まず「認証コード」確認の手続きがありますので、どれでも適当なもの（できれば時間切れ寸前のもの）を選びます。

入札

商品をクリックすると、入札ページに移ります。ここには商品の情報と出品者、現在の価格などが表示されています。入札終了2分前にも関わらず一人も入札していません。ここに入札金額とパスワードを入力して、「確認」をクリックします。初めての場合は、これが有効にならず、「認証コード」確認の手続きに入ります。

「認証コード」確認の手続き

登録はしたもののメールアドレスにタイプミスがあったり、わざと偽のアドレスを登録したりする人が後を絶たないため、「Yahoo!オークション」ではメールの確認方法を考えました。それが「認証コード」確認の手続きです。「認証コード」を記載したメールを発信して、そのコードを指定のページに入力。これが致していれば、会員と見なすというややこしい方法です。

認証コード掲載のメール

さて、前ページの「認証コードをメールで送信」をクリックすると、すぐにメールが届きます。メールには認証コードが記されています。これをコピーします。

登録の認証

コピーした認証コードを指定のページの「認証コード」欄に入力。さらにパスワードを入力して、「登録を承認」をクリックします。これで、一連の「認証コード」確認の手続きが終了します。この段階で、先に入札しようとした商品はとうに期限が切れています。

商品一覧

再び商品一覧です。今度は本気で購入するつもりでしっかり見ましょう。そして、気に入った商品があったらクリックします。それにしても、個人参加のせいか膨大な量の出品点数があります。ざっと見ていくほかに検索することもできます。

入札

そして入札です。前回同様にIDとパスワード、希望価格を入力。「確認」をクリックすると、入札の確認画面に飛びます。この画面で入札を確定します。

入力完了

入力を受け付けたメッセージが表示されます。たいていの場合そうでしょうが、入札直後は最高価格です。後は、落札のメールを待つだけです。「ウオッチリスト」に商品を入れて、入札状況を確認することもできます。

落札メールの到着

うまく落札するとオークション終了直後にその旨を知らせたメールが届きます。落札したら後は、支払い方法や商品の受取方法など、出品者からの連絡を待つことになります。

◆こんなサイトも

●楽天スーパーオークション！ http://www.rakuten.co.jp/auction/

トップページ

前に紹介した楽天市場が開催しているオークションです。ここは、「Yahoo!オークション」とは性格が大いに異なります。まず、自由に出品できません。出品できるのは楽天市場にお店をもっている人だけです。ショップ経営者が自分のお店の商品をオークション形式で売りさばいているという感じです。

商品の一例

ちなみにオークションで人気の商品を見てみましょう。このラーメンは数百人からの入札がありました。商品は1点ではありませんから、その何割かの人が購入できることになるのでしょう。

●アットマーク・ベンチャー http://www.venture.or.jp/@et/auction/index.html

もうひとつ紹介しましょう。電化製品が中心のオークションで出品者はプロです。普通に値段を付けて売ればいいのでしょうが、多少ゲーム感覚を持たせるため、オークション形式にしているといった感じです。とはいえ、よそよりも安く手に入る可能性はあります。

コラム

●オークションへの出品

オークションに参加しているうちに自分でも出品したくなるものです。出品も入札同様、さほど難しいものではありません。気軽に申し込むことができます。ここでは「Yahoo!オークション」への出品方法を紹介しましょう。

・出品の条件：20歳以上の方

・出品できないもの：法律で売買が禁じられているもの、著作権を侵害するもの、アルコール、わいせつ物など

それでは手順を紹介しましょう。

1　ユーザー登録をします。

このユーザー登録は入札の際にも必要。入札をした方なら不要です。

2　オークションの出品ページで必要事項を入力します。

トップページ上部にある「出品する」をクリックして、オークションのジャンルを指定。さらに、出品ページで必要事項を入力します。

ここで、写真やタイトル、説明、商品の発送、などを指定します。

3　オークションへの出品オークションのページを確認したら、「送信」をクリックします。商品はすぐに出品されます。

出品したら落札の連絡は「Yahoo!オークション」から届きます。しかし、自分でもこまめにチェックしておきましょう。

なお、「利用規約」もあるので熟読するように。

# フリーマーケットで賢い買い物

POINT

●オークションのようなゲーム感覚なしの個人売買。

●自分の不要品を処分してちょっとした小遣い稼ぎ。

●オンラインならではユニークなサイトも登場。

オークションの次はフリーマーケット。フリーマーケットはガレージセールなどと呼ばれ、個人が不要になった家具や家庭用品を処分価格でおわけすることで、今ではあちこちの商店街や公園で行われるようになっています。このフリーマーケットがオンライン上に登場したわけです。

この仕組みも簡単です。出品者が登録して、その商品を客が選択するだけです。まず、フリーマーケットではユーザー登録が必要。その上で、一覧から商品を見つけ、詳細を確認して購入を申し込みます。購入後、サイトから受付をしたメールが到着。サイトが管理するのはここまでで、以降の交渉は出品者と客の間のメールで行われます。これはオークションと同じです。この交渉の過程で値引くこともできます。

フリーマーケットというくらいですから、値段が魅力。市販の製品よりはずいぶんと安く出品されています。出品する方も不要になった家庭用品で臨時の収入を得ることができるかもしれません。なにしろ製品は家庭内であふれている状況ですから、このフリーマーケットも大盛況です。ブランドに特化したサイトなど、今後も続々とユニークなサイトが登場することでしょう。

■「芝のキャンパス」でお買い物

●芝のキャンパス http://www.shibacam.co.jp/

トップページ

「芝のキャンパス」は個人での売買を対象に、幅広い製品を扱っているフリーマーケットサイトです。利用しやすく良心的なサイトといえるでしょう。このお店で買い物を体験してみましょう。掲載や交渉、閲覧などは基本的に無料。ただし、売買への参加はユーザー登録が必要です。

ユーザー登録

このような売買や交渉ごとではユーザー登録が基本です。ここでは先にユーザー登録を済ませてしまいましょう。もちろ、商品の一覧を見ていくだけなら特に登録の必要はありません。また、入札直前にユーザー登録を申し込むこともできます。

ジャンル選択

ユーザー登録を済ませたらジャンル選択です。一覧形式でジャンルと出品数が表示されています。これも一般のフリーマーケットと同じようにファッション関係に人気が集まっているようです。ここでは、「パソコン（周辺機器）」を選んでみます。

商品選択

さらに、細かなジャンル選択をしていき、商品一覧が開きます。一覧で表示されるのは商品名と価格、掲載日。けっこう古くから売れ残っているものもあるようです。また、写真があるものにはカメラマークが付いています。ここで、USBケーブルとマウスを見てみましょう。

商品詳細

商品の詳細が表示されました。これで気に入ったら「この情報と交渉」をクリックします。まだ他の商品を確認したい場合は前ページに戻って、物色を開始します。複数の商品を選んで、まとめて詳細表示にすることもできます。

申し込み開始

申し込みをします。登録したメールアドレスとパスワードを入力して、「交渉の部屋へGO!」をクリックします。まだユーザー登録をしていない方は、ここで登録することもできます。

申し込み

ここで申し込みの状況を確認できます。タッチの差で先を越された場合はここでわかります。申し込みは「一発申し込み」と「値段交渉申込」が用意されています。「値段交渉申込」では金額提示と条件も申し出ることができます。

申し込み終了

前ページで「一発申し込み」にしましたので、めでたく申し込み終了。このサイトでの処理が終わります。後は、先方からのメール待ち。

メール到着

届いたメールがこれ。ここで申し込んだ内容を確認し、出品者からの連絡を待ちます。

以上が、購入方法です。フリーマーケットは購入もいいのですが、出品も魅力的です。「芝のキャンパス」では出品も簡単。利用手順を参照して申し込んでみましょう。

◆こんなサイトも

●BRF！ http://village.infoweb.ne.jp/~fwga5729/Brf/brf.html

ファッションブランド専門サイト

BRFはブランド品を専門に扱っているサイトです。ブランドごとの掲示板も豊富で、ブランド大好きという方必見といえるでしょう。単なる売買の仲買ではなく、人気投票や利用者の声なども収録し、利用者の便宜をはかっています。

商品一例

BRFの商品の一例をお見せしましょう。これは海外で買い付け、個人輸入したバッグ。値段もそれなりにしっかりしています。こうなると、フリーマーケットやガレージセールというよりは、純粋にショップの役割を果たしています。

●CSJマーケット・ドット・コム

出品も購入も無料のサイトです。中古だけではなく、新製品も多くあります。また、商品の幅広さに定評があり、数千万円の不動産までも販売しています。こうなるとフリーマーケットでくくることが困難になります。

コラム

●オンラインショッピングでの支払方法

オンラインショップは対面販売ではありません。このため、支払いにいくつかの方法が用意されているのが一般的です。その主な方法を紹介しましょう。

◆銀行振込/郵便振込

ショップ指定の口座に振り込みます。振込先は買い物の際のホームページや確認のメールに記載されています。振り込みを確認してから商品を発送しますので、多少納期がかかります。期限を過ぎても振り込みがない場合は、キャンセルとなりますので、確実に振り込むことが必要です。

◆代金引換発送

宅急便の配達員に代金を支払う方法です。代金に応じた代引手数料が別途かかります。また、留守だと受け取ることができません。しかし、手軽で確実です。代引ならば安心して注文できます。

◆クレジットカード

VISAやJCBなどのカードで支払う方法です。ネットワーク上ですべて処理でき、とても便利です。ただし、オンライン上をカード番号が流れるので、セキュリティの甘いショップでは利用できません。セキュリティについては巻末の「トラブル解消Q&A」を参照してください。

◆コンビニ決済

オンライン特有の支払方法であり、商品の受け取り方法です。最寄りのコンビニまで商品が届き、その商品を受け取る際に代金を支払います。ショップ側も受け取る側も確実で安全なため、多く利用されるようになっています。

◆.オンライン電子決済（Smash、アコシスなど）

クレジット番号などの漏洩を防ぐために開発された支払方法です。電子的なお金を支払うことで決済しますが、いったんショッピングモールの会員やプロバイダの会員になっておくことが必要です。クレジット番号をいちいち入力せず、ID番号の入力で取り引きできます。